

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : バイザー™ 水和剤

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

## 会社情報

## 製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社  
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190  
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬 (除草剤)

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品のGHS分類

発がん性 : 区分 1A

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

## GHS ラベル要素

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H350 発がんのおそれ。  
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

**安全対策:**  
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**応急措置:**  
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
P391 漏出物を回収すること。

**保管:**  
P405 施錠して保管すること。

**廃棄:**  
P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
ジチオピル	97886-45-8	40	
非晶質沈降シリカ	112926-00-8	10	
二酸化チタン	13463-67-7	1.95	1-558, 5-5225 2-(3)-509
ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム	577-11-7	1.8	2-1623, 2-1620 2-(4)-384
石英	14808-60-7	0.78	1-548
トルエン	108-88-3	0.18	3-2, 3-60

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で15~20分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 眼に入った場合 : 作業場内に適切な緊急用安全シャワー設備を設置すること。  
眼を開いたまま15~20分水でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。  
作業場内に適切な緊急用洗眼設備を設置すること。
- 飲み込んだ場合 : 緊急医療措置は必要ない。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。  
ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。
- 医師に対する特別な注意事項 : 熱傷を負っている場合は、除染ののち、熱による熱傷と同じように治療する。  
特別な解毒剤はない。  
ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。  
中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧  
耐アルコール泡消火剤  
二酸化炭素 (CO2)  
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。  
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
- 特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。  
区域から退避させること。

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

- 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。  
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。  
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。  
保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 粉じんの発生を避ける。  
粉じんを吸い込まないように留意。  
保護具を使用する。  
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。  
環境への放出は必ず避けなければならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
汚染された洗浄水を保管し、処分する。  
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。  
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目12の環境影響情報を参照。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。  
粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。  
回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。  
こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。  
追加情報として、項目13の廃棄上の注意を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 局所排気、全体換気 : 局所換気を行い使用する。  
安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。  
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。  
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
皮膚や衣服に付けない。  
飲み込まない。

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

眼との接触を避ける。  
容器を密閉しておくこと。  
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。  
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : なし。

## 保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。  
適切なラベルのついた容器に入れておく。  
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤  
有機過酸化物  
爆発物  
ガス

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
ジチオピル	97886-45-8	TWA	0.25 mg/m <sup>3</sup>	Dow IHG
カオリン	1332-58-7	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m <sup>3</sup> (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		詳細情報: 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である. この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある.		
		OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA (呼吸濃度)	2 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH
二酸化チタン	13463-67-7	OEL-M (吸入性粉じん)	1 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	4 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)

バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
 1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

		OEL-M (吸入性粉塵)	1.5 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない. または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である.			
		OEL-M (総粉塵)	2 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない. または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である.			
		OEL-M	0.3 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない. または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である.			
石英	14808-60-7	TWA OEL-C (吸入性粉じん)	2.4 mg/m3 0.03 mg/m3 (シリカ)	Dow IHG 日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である. この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある.			
		TWA (呼吸濃度)	0.025 mg/m3 (シリカ)	ACGIH
トルエン	108-88-3	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	50 ppm 188 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第1群: ヒトに対して生殖毒性を示すことが知られている物質, 経皮吸収			
		TWA	20 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
トルエン	108-88-3	トルエン	血液	週の後半の作業終了前2時間以内	0.6 mg/l	日本産業衛生学会
		トルエン	尿	週の後半の作業終	0.06 mg/l	日本産業衛生学会

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

				了前2時間以内		
		トルエン	血液中	労働週の最終シフト前	0.02 mg/l	ACGIH BEI
		トルエン	尿	シフト終了時（暴露停止後できるだけ早く）	0.03 mg/l	ACGIH BEI
		o-クレゾール	尿	シフト終了時（暴露停止後できるだけ早く）	0.3 mg/g-Cr	ACGIH BEI

**設備対策** : 局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。  
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

**保護具**

**呼吸用保護具** : 許容濃度や管理濃度を超える可能性がある場合、呼吸器保護具を着用すること。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、呼吸器刺激や不快感等がある場合、又はリスク評価において必要であると示された時、呼吸器保護具を着用する。ほとんどの場合、呼吸用保護具は必要ない。ただし、粉塵を含む空気中では、認可された防塵マスクを使用する。

**手の保護具**

**備考** : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ポリ塩化ビニル(PVCまたはビニル)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

**眼の保護具** : ケミカルゴーグルを使用する。  
**皮膚及び身体の保護具** : この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

**9. 物理的及び化学的性質**

**物理状態** : 粉末  
**色** : 類白色

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

臭い	: 硫黄臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: 55 ° C
凝固点	: 適用なし。
沸点/沸騰範囲	: 適用なし。
可燃性 (固体、気体)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限 値	: 適用なし。
爆発範囲の下限 / 可燃下限 値	: 適用なし。
引火点	: 方法: 密閉式引火点試験 適用なし。
分解温度	: データなし
pH	: 6.0 - 7.0
蒸発速度	: 適用なし。
かさ密度	: 0.25 g/cm <sup>3</sup>
自然発火点	: 適用なし。
粘度	
粘度(粘性率)	: 適用なし。
動粘度 (動粘性率)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 分散する
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: 適用なし。
密度及び/又は相対密度	
比重	: データなし
相対ガス密度	: 適用なし。
爆発特性	: データなし



## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

酸化特性 : データなし

粒子特性  
粒子サイズ : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。  
化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。  
通常の状態では安定。  
危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。  
特に言及すべき危害要因はない。  
避けるべき条件 : 知見なし。  
混触危険物質 : なし。  
危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 製品:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg  
急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.7 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。  
急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

#### 成分:

##### ジチオピル:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg  
症状: この濃度では死に至らない。  
急性毒性 (吸入) : 備考: 吸入による悪影響は何も予想されない。  
入手可能なデータによると、麻酔作用は見られなかった。  
入手可能なデータによると、呼吸器への刺激は見られなかった。

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

LC50 (ラット): > 5.98 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg  
症状: この濃度では死に至らない。

## 非晶質沈降シリカ:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 2.08 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
方法: OECD 試験ガイドライン 403  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。  
備考: 到達可能な最高濃度。

急性毒性 (経皮) : LD50: > 2,000 mg/kg  
方法: 推定値。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

## 二酸化チタン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 10,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オス): > 6.82 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): 10,000 mg/kg

## ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,100 mg/kg  
備考: 腹部不快感または下痢をおこすことがある。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ, オス): > 10,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402

## トルエン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 5,580 mg/kg

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オス): 25.7 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
備考: 症状には、頭痛、めまいと眠気のほか、協調運動障害および意識消失の進行などがある。  
アルコール摂取や激しい運動は、トルエンの有害影響を増大させるだろう。

LC50 (ラット, メス): 30 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): 12,267 mg/kg

## 皮膚腐食性/刺激性

**製品:**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

**成分:**

## ジチオピル:

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

## 非晶質沈降シリカ:

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

## 二酸化チタン:

結果 : 皮膚刺激なし

## ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激性

## 石英:

結果 : 皮膚刺激なし

## トルエン:

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激性

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

**製品:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

**成分:****ジチオピル:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

**二酸化チタン:**

結果 : 眼への刺激なし

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

種 : ウサギ  
結果 : 腐食性

**石英:**

結果 : 眼への刺激なし

**トルエン:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

**製品:**

種 : モルモット  
結果 : 皮膚感作性なし。

**成分:****ジチオピル:**

備考 : モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :  
関連のあるデータは得られていない。

**二酸化チタン:**

備考 : マウスに接触アレルギーの可能性は認められなかった。  
モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

---

備考 : 呼吸器感作性 :  
関連のあるデータは得られていない。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

種 : ヒト  
アセスメント : 皮膚感作性なし。

**トルエン:**

種 : モルモット  
アセスメント : 皮膚感作性なし。

**生殖細胞変異原性****成分:****ジチオピル:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

**非晶質沈降シリカ:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
ント

**二酸化チタン:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

**石英:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

**トルエン:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : インビトロ試験でも動物を用いた試験でも、トルエンに関する多くの遺伝毒性試験のうち、その多くのまた最も信頼性の高い試験は、トルエンには遺伝毒性がないことを示している。

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

**発がん性****成分:****ジチオピル:**

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

**非晶質沈降シリカ:**

発がん性 - アセスメント : 動物試験やヒトの経験から、かなり高純度のアモルファスシリカへの暴露による、ヒトの発がん性の顕著なリスクはないとされている。

**二酸化チタン:**

発がん性 - アセスメント : 2件の生涯にわたる吸入試験で、二酸化チタンに暴露させたラットに肺線維症および肺腫瘍が認められた。このような影響は、きわめて厳しい試験条件に起因する、通常の呼吸器浄化機能の過負荷によるものと考えられる。職場で二酸化チタンに暴露した作業者には、慢性呼吸器疾患および肺がんの発生率の異常は認められなかった。実験動物での生涯にわたる混餌投与試験では、二酸化チタンは発がん性を示さなかった。

**石英:**

発がん性 - アセスメント : 人間の発癌性物質。  
  
ヒトで発がん性を示した。、実験動物で発がん性が認められた。

**トルエン:**

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

**生殖毒性****成分:****ジチオピル:**

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験では、生殖を阻害しなかった。類似物質について、母体に毒性影響を起こした摂取量でも、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

**非晶質沈降シリカ:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

入手可能なデータは、催奇形性を起す可能性を評価するのに十分ではない。、入手可能データは、胎児毒性を起す可能性を評価するには不十分である。

**石英:**

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

**トルエン:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害することを示した。、動物実験によると発育に悪影響があることが一部立証されている。試験動物では、トルエンは母体に毒性を示す用量で胎児に毒性が認められた。経口投与するとマウスに催奇形性が認められたが、吸入では認められなかった。

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)****製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

**成分:****ジチオピル:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

**非晶質沈降シリカ:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (単回ばく露) としては区分に該当しない。

**二酸化チタン:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (単回ばく露) としては区分に該当しない。

**石英:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

## トルエン:

暴露の主経路 : 吸入  
標的臓器 : 中枢神経系  
アセスメント : 眠気又はめまいのおそれ。

## 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

## 成分:

## ジチオピル:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

## 石英:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）としては区分に該当しない。

## トルエン:

暴露の主経路 : 吸入  
標的臓器 : 神経系  
アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

## 反復投与毒性

## 成分:

## 非晶質沈降シリカ:

備考 : 珪藻土や非結晶シリカは有害粉塵と考えられるが、結晶性シリカにより起こる肺損傷は起さない。しかし、繰り返し過度の非結晶シリカ粉塵（この製品の主成分）への暴露は、一過性の肺への影響を起こすかもしれない。  
この物質の粉塵に反復暴露しても、全身毒性または永続的な肺障害を起こすとはないであろう。ただし、過剰暴露により激しくはないが呼吸器官影響を起こすことがある。

## 二酸化チタン:

備考 : 粉塵に繰り返し過剰に吸入暴露すると、呼吸器官に影響があることがある。  
動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：  
肺。

## ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

備考 : 腹部不快感または下痢をおこすことがある。

## 石英:



## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

---

**備考** : ヒトでは、以下の臓器に影響することが報告されている：  
腎臓。  
結晶シリカに反復過剰暴露すると珪肺症や、肺の病気を進行させたり肺が機能しなくなる疾患を起こすことがある。

**トルエン:**

**備考** : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：  
中枢神経系 (CNS) 作用  
過剰暴露により、神経に関わる徴候や症状が認められることがある。  
高濃度のトルエンに暴露させると、実験動物に聴力損失が認められた。  
故意にトルエンを吸入するという意図的な誤用は、中枢神経系障害、聴力損失、肝および腎への有害影響を来すことがあるほか、死に至ることもある。

**誤えん有害性****製品:**

物性上、誤えん有害性は低い。

**成分:****ジチオピル:**

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

**非晶質沈降シリカ:**

物性上、誤えん有害性は低い。

**二酸化チタン:**

物性上、誤えん有害性は低い。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

物性上、誤えん有害性は低い。

**石英:**

物性上、誤えん有害性は低い。

**トルエン:**

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

## 成分:

## ジチオピル:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対してきわめて高い急性毒性を示す  
(最も感受性の高い種では LC50/EC50 < 0.1 mg/L)。

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.5 mg/l  
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1.7 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 0.020 mg/l  
曝露時間: 5 d  
試験タイプ: 止水式

ErC50 (Lemna gibba (イボウキクサ)): 0.014 mg/l  
曝露時間: 7 d

最大無影響濃度 (Lemna gibba (イボウキクサ)): 0.0024 mg/l  
曝露時間: 7 d

M-ファクター (水生環境有害 : 10  
性 短期 (急性) )

M-ファクター (水生環境有害 : 10  
性 長期 (慢性) )

土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 1,000 mg/kg

地上生物に対する毒性 : 備考: 物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない (LD50 >  
2000 mg/kg)。, 物質は、混餌投与すると、事実上、鳥に対し  
て毒性を示さない (LC50 > 5000 ppm)。

経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2250  
mg/kg 体重

混餌 LC50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 5620  
mg/kg 餌

接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 µg/bee  
曝露時間: 48 h

経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 119 µg/bee  
曝露時間: 48 h

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

## 非晶質沈降シリカ:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 5,000 - 10,000 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 止水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 10,000 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 24 h  
試験タイプ: 止水式  
方法: OECD 試験ガイドライン 202  
GLP: 該当

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 440 mg/l  
エンドポイント: バイオマス  
曝露時間: 72 h

## 二酸化チタン:

魚毒性 : 備考: 物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない  
(試験した種のうち最も感受性の高い種で  
LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

NOEC (無影響濃度) 致死 (Leuciscus idus (コイの一種)): >  
1,000 mg/l  
曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式試験

## ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

魚毒性 : LC50 (Oryzias latipes (オレンジレッドカダヤシ)): 68 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: 方法不特定.

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6.6 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h

## 石英:

魚毒性 : 備考: 水生生物に対する急性毒性はないと考えられる。

## 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

## トルエン:

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

- 魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 5.8 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 半止水式  
  
LC50 (魚類): 5.5 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 流水式試験
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 7 mg/l  
曝露時間: 24 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 202  
  
LC50 (ミジンコ (Ceriodaphnia dubia)): 3.78 mg/l  
曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 半止水式
- 藻類/水生生物に対する毒性 : EbC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 12.5 mg/l  
エンドポイント: バイオマス  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- 魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (魚類): 1.4 mg/l  
エンドポイント: 成長  
曝露時間: 40 d  
試験タイプ: 流水式試験
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 0.74 mg/l  
エンドポイント: 子孫の数  
曝露時間: 7 d  
  
最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 2 mg/l  
エンドポイント: 子孫の数  
曝露時間: 21 d
- 微生物に対する毒性 : IC50 (バクテリア): 29 mg/l  
曝露時間: 16 h
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): 150 - 280 mg/kg

## 残留性・分解性

## 成分:

## ジチオピル:

- 生分解性 : 結果: 易分解性ではない。  
備考: 生分解は好气的条件 (有酸素) で起こるであろう。

## 二酸化チタン:

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

生分解性 : 備考: 生分解は適用不可。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。

接種: 活性汚泥、非馴化  
生分解: > 60 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 不合格

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)  
感作性: OH ラジカル  
速度定数:  $2.31E-11$  cm<sup>3</sup>/s  
方法: 推定値。

**石英:**

生分解性 : 備考: 生分解は適用不可。

**トルエン:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: 100 %  
曝露時間: 14 d  
方法: OECD テストガイドライン 301C あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 非該当

ThOD : 3.13 kg/kg  
方法: 計算値。

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)  
感作性: OH ラジカル  
含有量: 1,500,000 l/cm<sup>3</sup>  
速度定数:  $5.23E-12$  cm<sup>3</sup>/s  
方法: 推定値。

**生体蓄積性****成分:****ジチオピル:**

n-オクタノール/水分配係数 :  
(log 値)

log Pow: 4.75  
方法: 測定値

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

備考: 生物濃縮の可能性は中程度。(BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

**非晶質沈降シリカ:**

n-オクタノール／水分配係数 : 備考:n - オクタノール・水分配係数は適用不可。  
(log 値)

**二酸化チタン:**

n-オクタノール／水分配係数 : 備考:n - オクタノール・水分配係数は適用不可。  
(log 値)

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

生体蓄積性 : 種: 魚類  
生物濃縮因子 (BCF) : 3.47 - 3.78  
方法: 測定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 1.998  
(log 値) 備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

**石英:**

n-オクタノール／水分配係数 : 備考:n - オクタノール・水分配係数は適用不可。  
(log 値)

**トルエン:**

生体蓄積性 : 種: 魚類  
生物濃縮因子 (BCF) : 13.2 - 90  
方法: 測定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 2.73  
(log 値) 方法: 測定値  
備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

**土壌中の移動性****成分:****ジチオピル:**

環境中の分布 : Koc: 20500  
備考: 土壌中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc > 5000)  
ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。

**二酸化チタン:**

環境中の分布 : 備考: データなし。

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

---

**石英:**

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

**トルエン:**

環境中の分布 : Koc: 37 - 178  
方法: 推定値。  
備考: 土壌中移動性がきわめて大きい(Koc 0~50)。

**オゾン層への有害性****成分:****ジチオピル:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**非晶質沈降シリカ:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**二酸化チタン:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**石英:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**トルエン:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**他の有害影響****成分:****ジチオピル:**

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

---

**非晶質沈降シリカ:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

**二酸化チタン:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

**ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

**石英:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

**トルエン:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

---

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。  
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

---

**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送(UNRTDG)**

国連番号 (UN number) : UN 3077  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.



## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

(Dithiopyr)  
国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9  
環境有害性 : 該当

## 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3077  
国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s.

(Dithiopyr)  
国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : Miscellaneous  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 956  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 956

## 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3077  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.  
(Dithiopyr)  
国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9  
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F  
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 該当 (Dithiopyr)  
備考 : Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)  
供給された状態の製品には非該当。

## 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

## 詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

## 特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

## バイザー™ 水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/02/06 800080004587 初回作成日: 2024/02/06

## 15. 適用法令

## 関連法規

## 労働安全衛生法

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量 (%)	備考
非晶質シリカ (シリカゲル、沈降シリカ)	>=10 - <20	2026 年 4 月 1 日以降
酸化チタン (I V)	>=1 - <3	-
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩	>=1 - <3	2026 年 4 月 1 日以降
結晶質シリカ	>=0.3 - <1	-
トルエン	>=0.1 - <0.3	-

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
非晶質シリカ (シリカゲル、沈降シリカ)	2026 年 4 月 1 日以降
酸化チタン (IV)	-
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩	2026 年 4 月 1 日以降
結晶質シリカ	-

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理促進法

## 第二種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
S, S'-ジメチル=2-ジフルオロメチル-4-イソブチル-6-トリフルオロメチルピリジン-3, 5-ジカルボチオアート	782	40

## 農薬取締法

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)  
ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)  
Dow IHG : ダウ社内ガイドライン  
安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針

## バイザー™ 水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/02/06	800080004587	初回作成日: 2024/02/06

日本産業衛生学会 : 許容濃度等の勧告 - II. 生物学的許容値  
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
Dow IHG / TWA : 時間加重平均 (TWA) :  
Dow IHG / TWA : 時間加重平均  
安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト  
ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: XF-00010

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA